第１学年４組　社会科学習指導案

１　単元名　「人類の始まりと文明」

２　指導観

○　本単元は、中学生における歴史的分野の最初の分野であり、導入部分ともいえる。人類は約 400 万年前にアフリカで誕生し、進化していった。生活の場所を世界各地に広げていき、文明を起こし、温暖な気候を活かして農耕・牧畜などを行い、国家を形成し、時代が過ぎていくとともに人々の生活は変容していった。文明が発展していくなかで、苦しむ人々を救うために宗教が誕生し、人々の生活はよりよいものになっていった。本単元を学習することは、１分＝６０秒や太陽暦など現在も使われ私たちの生活に大きくかかわっているものが、文明の成長とともにつくられたものであるということに気づき、人類の歴史や人々の生活の変容について、生徒の興味・関心を高めていくうえでも意義深いと考える。

○　クラスの生徒３９名に対してアンケート調査を行ったところ、「人類の祖先といえば何か」という質問に対して、「猿人」または「猿」と回答した生徒が２６名いた。このことから、小学校段階からの既存知識として人類の祖先が「猿人」もしくは「猿」という認識をもっていることがわかる。「文明という言葉を聞いたことがあるか」という問いに対して、聞いたことがあると回答した生徒は２１名であった。１６名の生徒に関しては、「聞いたことがあるが知っていることはない」と回答している一方で、残り５名は、中国文明、メソポタミア文明、インダス文明、エジプト文明、文字の発明など本章で勉強する内容に関しての知識をもっていた。ピラミッドの写真を提示し、「これは何か」という問いに対して「ピラミッド」と答えた生徒数は２５名であった。「どういう目的で作られたのか」という問いに対しては、「王の墓」と答えた生徒が３名ほどいた。本単元で学習することに関しての知識は、約半数の生徒が理解しているが、多くの生徒が深い内容まで理解できていない。

○　本単元の指導においては、文明がどのように発展し、そのなかで人々はどのように生活していたのだろうか理解し、説明することができることをねらいとしている。そのためにまず、第一次では、生徒の関心をひきつけ、「文明がどのように発展し、そのなかで人々はどのように生活していたのだろうか」という学習課題を設定するために本単元に関する資料を提示し学習課題に関するイメージをもたせる。次に、第二次では、人類の進化、文明の発展、国家の成立、宗教の特徴についての知識を獲得することができるようにするために、それぞれ教科書や資料集を用いて調べる活動を設定する。最後に第三次では、学習課題に対する自分の考えを適切に説明することができるようにするために、第二次で学習した内容を確認し、キーワードを挙げ、本単元に学習した内容のまとめを行う場を設定する。

３　目標

○人類の誕生に関心をもち、人類の進化の過程を意欲的に追究しようとしている。【関心・意欲・態度】

○世界の古代文明や宗教の起こりについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。【思考・判断・表現 】

○世界の古代文明や宗教のおこりについて、資料から必要な情報を読みとり、表や文章でまとめることができる。【資料活用の技能】

○文明が築かれ、人類の生活の向上に与えた影響について理解することができている。【知識・理解】

4　単元指導計画（6時間）　関心・意欲・態度【関】　思考・判断・表現【思】　技能【技】　知識・理解【知】

次	時	学習活動・内容	指導のねらい・内容・方法	評価基準（観点・方法）
一	1 ①	1　本単元に関する資料を見せ、質問に答える。 ・サルの写真 ・始皇帝、・ピラミッド 2　学習課題を設定する。 文明がどのように発展し、そのなかで人々はどのように生活していたのだろうか。	生徒の関心をひきつけ、学習課題を設定する。 ・学習課題を設定できるようにするために、本単元に関する資料を提示し学習課題に関するイメージをもたせる。	・提示した写真の発問に対して意欲的に答えようとしている。 （関：様相観察） ・学習課題に対して、仮説をたてることができる。 （思：学習プリント）
二	1 ④	3　人類の進化の流れを理解し、農耕・牧畜のはじまりについて調べる。 ・猿人→原人→旧人→新人 ・打製石器、磨製石器 ・農耕、牧畜	人類の進化、文明の発展、国家の成立、宗教の特徴についての知識を獲得することができるようにする。 ・人類の進化についての知識を獲得するために、人類の進化について教科書や資料集を用いて調べる活動を設定する。	・人類が気候に合わせて、火の使用や衣服などを工夫し、生活が向上していったことを理解することができる。 （知：学習プリント）
本時（2／4）		4　人類が文明を築くことができるまで発展できた理由を考える。 ・農耕、牧畜の発展 ↓ ・文字（技術の継承）、国家（労働力の確保）の出現	・人類が文明を築くまで発展できた理由を考えることができるように、農耕・牧畜を中心に考えをまとめる活動を設定する。	・文明の発展において、なぜ文字や国家が必要だったのか考えることができる。 （思：学習プリント）
		5　東アジアに広がる中国文明について、国家の形成と関連して学習する。 ・甲骨文字、 ・殷、秦、漢 6　宗教の特徴についてまとめ、広まった要因を理解する。 ・仏教 ・キリスト教 ・イスラム教 ↓ 心の支えとして宗教	・中国文明においての国家の成立の知識を獲得するために、中国王朝の順番、中国文明の特徴を教科書、資料集を用いて調べる活動を設定する。 ・宗教の特徴についての知識を獲得できるようにするために、教科書、資料集を用いて調べる活動を設定するとともに、宗教が広まった要因を理解するために、文明の発展の流れをしっかりとふり返る場を設定する。	・中国の文明の特徴を表にまとめることができる。 （技：学習プリント） ・古代文明と宗教がおこった場所を示した地図から情報をよみとることができる。 （技：学習プリント）
三	1 ①	7　本単元に学習した内容のまとめをする。 手を使い、道具を使用した。温暖な気候を活かし、農耕・牧畜が成長し、文明が発達した。労働力が必要になり、都市や国家が形成された。技術を継承していくため文字などが発明された。一方で、貧富の差に人々は苦しみ、心の支えとして宗教が広まった。	学習課題に対する自分の考えを適切に説明することができるようにする。 ・学習課題に対する自分の考えを人類の進化、文明の発展の知識をもとに適切に説明することができるようにするために、人類の進化、文明の発展、宗教の特徴におけるキーワードを挙げ、本単元に学習した内容のまとめを行う場を設定する。	・人々の生活の向上について、文章でしっかりとまとめることができる。 （思：学習プリント） ・小集団で意見を共有し、話し合い活動に積極的に参加しようとしている。 （関：様相観察）

5　本時　平成 30 年 11 月 9 日（金）　第 5 校時　　1 年 4 組教室　　第 2 次の 2 時

6　本時の主眼
人類が文明を築くことができるまで発展できた理由を説明することができる。

7　**振り返り活動を仕組む授業づくりの工夫点**
毎時間の授業の終わりに小さな振り返り活動を行う。その際、授業で出てきたキーワードをもとに文書表記をさせることによって、振り返り活動を行う。小さな振り返り活動を毎時間行うことによって、単元の最後に、小さな振り返り活動を振り返ることによって、最後に単元のまとめを行う大きな振り返り活動につなげ単元の定着を図る。

8　準備　学習プリント、パソコン、ホワイトボード（8 枚）、教科書、資料集

9　本時の過程　　関心・意欲・態度【関】　思考・判断・表現【思】　技能【技】　知識・理解【知】

段階	学習活動・内容	具体的な手だて	評価の観点（方法）	形態	配時
つかむ	1　前時の学習内容を復習する。 ・既習事項の確認 ・猿人→原人→旧人→新人	○前時の学習をふり返るために、復習する場面を設定する。		一斉	10
	2　本時の学習内容に関連する身近な質問に対して答える。 ・１時間＝60 分 ・１週間＝７日 ・太陽暦	○文明に関しての関心をひきつけるために、本時の学習に関連する身近な質問を行い、資料を提示する。			
／	3　本時のめあてを確認する。 人類が文明を築くことができるまで発展できた理由を説明しよう。	○本時のめあてを設定するために、単元の学習課題を確認する。		一斉	3
さぐる・深める	4　文明の特徴をまとめる。 ・文明（エジプト、インダス、メソポタミア） ↓ 川の近くで成長（農耕・牧畜の発展） ↓ 文字（技術の継承）・国家（労働力の確保）の形成	○文明に関する知識を獲得させるために、教科書・資料集を用いて文明の特徴をまとめる活動を設定する。 ○文明の概念的知識をもたせるために、文明の共通点をまとめる活動を設定する。		小集団	27
／	5　本時の学習をまとめ、ふり返る。 農耕・牧畜が成長していった事により、食料の安定を図ることができた。労働力の確保のため、国家が形成され、技術の継承のために文字が発明されたことにより文明が成長したから。	○本時の学習をまとめ、ふりかえるために、語句を指定して、その語句を用いてめあてに対しての答えをまとめる活動を設定する。	○人類が文明を築くことができるまで発展できた理由を説明することができる。【思】 （様相観察・学習プリント）	個	10
まとめる・振り返る					